

【めざす子どもの学ぶ姿】

小中一貫教育目標：「生きてはたらく学力」を身につけた心豊かな子ども

キャリア教育（地域連携）目標：

「未来に希望をもち、仲間や地域とともに学ぶ心豊かな子ども～自分と向き合い、他者とつながり、学び続ける～」

【めざす授業づくり】

学力の土台である非認知能力（自分と向き合い、高める力・他者とつながる力・学び力）を伸ばすとりくみや授業をしています。

- ①自分と向き合い、高める力（コントロールする力・ねばり強さ・チャレンジ・自信・自尊感情）
- ②他者とつながる力（コミュニケーション・思いやる・協調性）
- ③学び力（興味関心・課題解決力・振り返る力）

教科の結果より

【無解答率でわかる課題】※数値に関しては、（本校の無解答率/全国の無解答率）を表しています。

〈数学〉

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。（50.0%/29.4%）

〈国語〉

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。（28.6%/15.0%）

見える課題は、文章や資料から情報を整理したり分析したり、表現したりすることがあげられる。

生徒質問紙より 肯定的回答とその説明	本校	全国
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	83.3%	77.9%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	71.4%	79.0%
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.9%	92.3%
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	85.8%	86.1%

■以下のアンケート項目において、【めざす子どもの学ぶ姿】の実現のために、引き続き【めざす授業づくり】である非認知能力をベースとした授業やとりくみの研究をすすめる。

- ・「私は学校に行くのが楽しい」肯定的回答 79.2%（生徒アンケートより）
- ・「私はみんなで何かをするのは楽しい」肯定的回答 88.0%（生徒アンケートより）
- ・「難しいことがあっても、あきらめない。（ねばり強さ）」肯定的回答 87.5%（生徒アンケートより）

■情報活用能力の育成、子どもが自ら学びに向かうような授業にとりくんでいく。

全学調の無解答率より、情報を整理したり分析したり、表現したりする力が重要だと考える。情報を整理して見えやすい形で表現する思考ツール等の活用した授業や、子どもたち自身が多様な手段を用いて、学びに向かうような授業にとりくんでいく。